

宝物はすぐそばに

校内研通信

第5号

R7.7.14

発行者:校内研担当 仲村智

真のヒーローはあなたの隣にいるのかも

7月11日(金) 2校時、3年8組にて新田宗矢先生が保健体育(水泳)の授業を公開しました。プールの老朽化や熱中症対策、生徒の肌露出への抵抗感などを理由に全国的に水泳授業の廃止や外部委託が広がるなか安全管理に細心の注意を払いつつ授業がスタートしました。本時のねらいは、自己の課題を解決するために練習を工夫し取り組むことが目的です。導入にてそれぞれのレベルに合わせた目標の提示とそれぞれの泳法のポイントを簡潔に説明し、生徒は個々の課題に向き合い練習を繰り返していきました。教師は常に生徒の状況を把握・評価し、適切な声かけ・支援を行い、個々の目標達成に向けてお互いで意見交換や交流を促すよう仕掛けが効果的だったように思います。特に水泳となると、それぞれの力量の差(既習事項の差)も大きく一斉指導が困難な状況であるなか、個別最適な学びのヒントとなる授業でした。運動能力もなく他の体育でもさして目立たない生徒が、得意な水泳をいかして突如現れたヒーローのようにリトルティーチャーとして活躍する姿にほっこりするのです(笑)

宗矢先生素敵な授業をありがとうございました。今後の2年研課題研究も頑張ってくださいね。

体育・保健体育の授業づくりで大切なこと

体育授業と学級経営

皆さん、「体育・保健体育の授業を観察すれば、その先生の学級経営がわかる。」と耳にしたことはありませんか。

そのようにいわれている理由が右図「よい体育授業の二重構造」の基礎的条件に示されています。「学習規律(学ぶ姿勢)」「肯定的人間関係」「情緒的解放」まさに学級経営に大切なことからですね。

体育の授業力向上は学級経営にもつながるのです。

よい体育授業の二重構造



RS (リーディングスキル) の育成という観点で授業を観たときの授業改善のポイントを確認します。

【Point3】意図が伝わる表現を意識する！

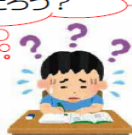
- ☐ 教師と子供でめあてを確認しているか？
- ☐ 「きちんと」「ちゃんと」「工夫して」等のあいまいな表現をしていないか？
- ☐ 一意に決まらない表現は避け、意図や目標を明確に言語化しているか？

※ 一意に決まらない表現…解釈が複数存在し、明確に一つの意味に定まらない表現のこと



56+67+33の計算のしかたを工夫しましょう。

「工夫する」って
どういうことだろう？



56+67+33はどのように計算すれば
暗算でできますか？

「計算のきまり」を使う
と簡単に計算できる！

